

W杯ラグビー―菅平事前キャンプ

伊代表「意向」 上田市が発表

来年の日本代表戦でも希望

ラグビーの2019年ワールドカップ（W杯）日本大会に出場するイタリアチームを大会期間前の「事前キャンプ」に誘致している上田市は18日、イタリアラグビー連盟から同市菅平高原で行

う意向を伝えられていると正式に明らかにした。18年6月に日本で予定する日本代表とのテストマッチの際も菅平での事前キャンプを希望しているという。連盟側は同時に、数千円規模とみられる経費の補助を求めており、市側は一部を市議会9月定例会に提出する本年度一般会計補正予算案に計上する方針

だ。

だ。

市役所で開いた市議会全員協議会で市側が説明した。市政策企画部によると、7月中旬、イタリア連盟側から菅平高原で実施する意向が伝えられた。文化、経済面での交流や、20年東京五輪・パラリンピック前のキャンプも視野に入れていているという。一方、宿泊費や交通費、食費などの支出について、市側に一定の補助を求められた。

同部は「交渉中」として具体的な補助額を明らかにしていないが、本大会前、テストマッチ時を合わせて数千円規模になる可能性があるという。市議会で認められれば、市も参加する「市菅平高原キャンプ地誘致委員会」の負担

金としてイタリア連盟に補助する方針だ。

全協で母袋創一市長は「菅平高原を世界に発信するチャンス。イタリアに菅平でキャンプを行ってもらえるよう、機を逸することなく交渉に当たりたい」と理解を求めた。

市議からは、費用対効果などについて具体的なイメージがないと判断が難しいとの指摘や、交流事業や東京五輪の際に新たな負担を求められるとの懸念が出た。W杯期間前から期間中にかけて滞在する「公認キャンプ地」誘致につながる可能性を問われ、市側は事前キャンプなどの実績が誘致につながるとの認識を示した。

8月15日

県内